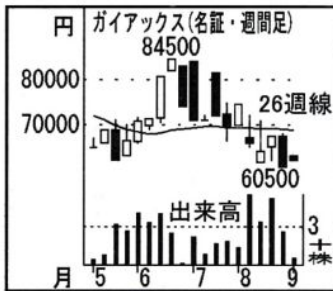


黒字転換に手応え

ガイアックス

コミュニティーサイトの企画、開発・運営を行うガイアックス(3775・セントレックス)の今12月期(前期から決算期を5月から12月に変更)の連結中間決算は期初予想を上回ってきた。



黒字転換に向け順調な足どりだ。

今期は法人向けコミュニティー事業の強化、コミュニティー運営サポートの低価格パッケージソリューションなどの提案

に注力。その中で今年1月から販売を開始した企業の内定者向けSNS(ソーシャル・ネットワーク・キング・サイト)「フレッシュヤーズ」納入社数が50社を突破、今期中には100社、来期にも50社程度の納入を目指している。ストック型ビジネスだけに今後の収益拡大の戦力として期待される。

また、これまで足を引っ張ってきたオンラインゲーム事業を今年3月に会社分割し、全株式を譲渡。負の部分の解消も収益改善の大きな要因となっている。

中間実績としては売上高で期中計画に2億円弱上乘せ、損益面も当初、最大1億円の損失を想定していたが、経常損益で400万円の赤字と大幅に縮小している。通期見通しの売上高25億円(前期17億3100万円)、経常利益・純利益1000万51億1000万円は変更していないが、上ブレる可能性が大きいという。今後の動向に注目したい。